

我が国の教員の現状と課題 - TALIS 2018結果より -

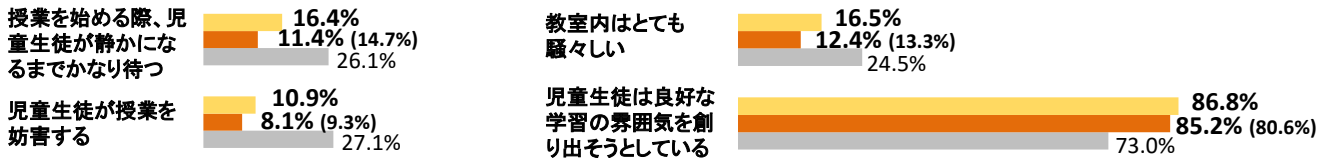
TALIS 2018 ・OECD加盟国等48か国・地域が参加(初等教育は15か国・地域が参加)
 ・日本では2018年2月～3月に小学校約200校及び中学校約200校の校長、
 教員に対して質問紙調査を実施

■ 日本(小学校)
 ■ 日本(中学校)
 (括弧内は前回2013年調査)
 ■ 参加国平均(中学校)

学級において規律が整っており、良好な学習の雰囲気がある。

➤ 日本の小中学校教員の回答は、学級における規律や学習の雰囲気についてよい結果を示しており、中学校教員において、前回2013年調査と比べて一層よい結果となっている。

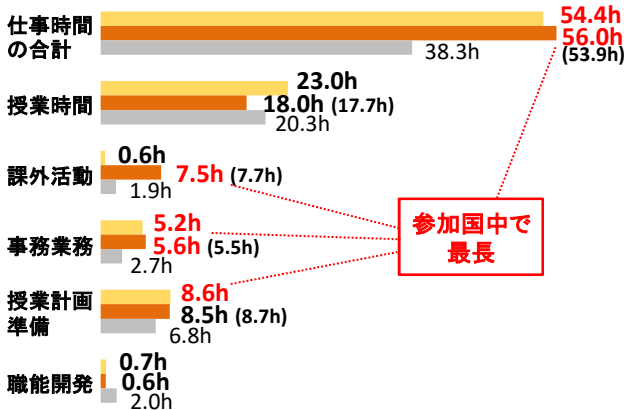
<学級の規律と学習の雰囲気>



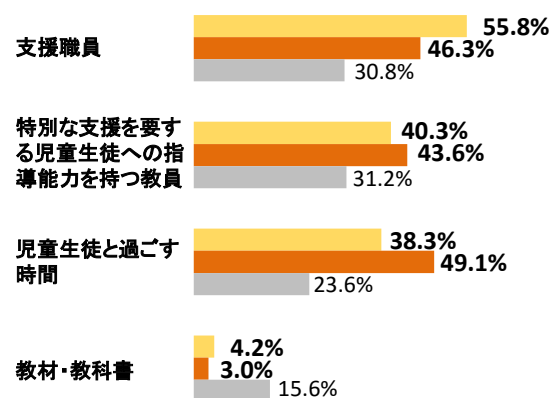
教員の仕事時間は参加国中で最も長く、人材不足感も大きい。

➤ 日本の小中学校教員の1週間当たりの仕事時間は最長。
 ➤ 前回2013年調査と同様に、中学校の課外活動(スポーツ・文化活動)の指導時間が特に長い。一方、日本の小中学校教員が職能開発活動に使った時間は、参加国中で最短。
 ➤ 質の高い指導を行う上で、支援職員の不足や、特別な支援を要する児童生徒への指導能力を持つ教員の不足を指摘する日本の小中学校校長が多い。一方、教材の不足については指摘が少ない。

<教員の1週間あたりの仕事時間>



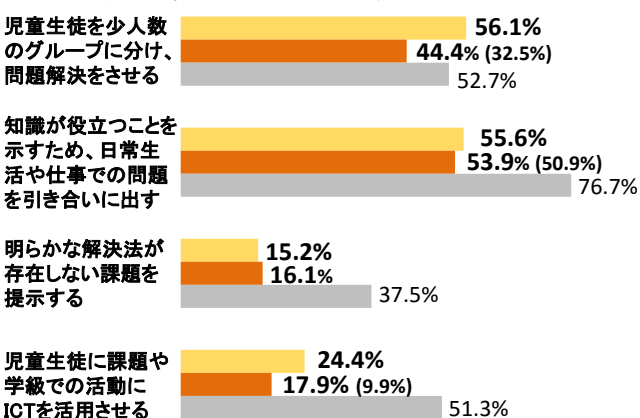
<学校における教育資源の不足感(校長)>



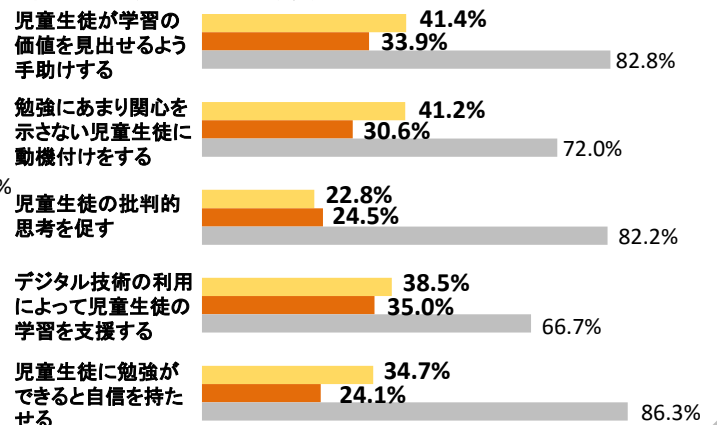
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善やICT活用の取組等が十分でない。

➤ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善や探究的な学習に関わる指導実践について、頻繁に行う日本の中学校教員の割合は前回2013年調査と比べて増えているが依然として低い。
 ➤ 生徒にICTを活用させることについて、頻繁に行う日本の中学校教員の割合は前回2013年調査と比べて増えているが依然として低い。
 ➤ 児童生徒の自己肯定感や学習意欲を高めることに対して高い自己効力感を持つ日本の小中学校教員の割合は低い。

<各指導実践を頻繁に行っている教員の割合>



<高い自己効力感を持つ教員の割合>



課題を踏まえた文部科学省の当面の取組

学校における働き方改革を強力に推進

○学校における働き方改革答申(平成31年1月)等に基づく施策の推進

- ・ 「**教師の勤務時間の上限に関するガイドライン**」を始点とした勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方の促進
- ・ 働き方改革に関する大臣メッセージや広報動画等の周知による**学校及び教師が担う業務の明確化・適正化の推進**
- ・ 部活動ガイドラインに基づく、**部活動の適正化**
- ・ 校務の情報化や事務の共同実施など**学校運営改善の好事例の普及**
- ・ 教師の勤務の在り方を踏まえた**勤務時間制度の改革** 等

○学校の指導・運営体制の効果的な強化・充実

- ・ 特別支援教育、いじめ、不登校などの**教育課題に対応するための教職員配置**の実施
- ・ 教師が授業等に集中できるように、部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ、SCやSSWなど多様な人材が学校の教育活動に参画する「**チームとしての学校**」を推進

新しい学習指導要領の着実な実施

○「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善

- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善により、児童生徒に学習する意義を実感させたり、情報を精査して考えを形成させたり、問題を見いだして解決策を考えさせたりすることを重視した学習を充実できるように、**効果的な指導実践の蓄積、情報提供などの支援**を実施

○探究的な学習の充実

- ・ **総合的な学習(探究)の時間**を中心に「①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現」の探究のプロセスによる学習を実現できるように、**事例収集やその発信**を行う

○各学校におけるカリキュラム・マネジメントの推進

- ・ 学校全体として、教育内容や時間の配分、必要な人的・物的体制の確保、教育課程の実施状況に基づく改善などを通して、教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図れるよう、**カリキュラム・マネジメントに関する調査研究の実施等**を通じて各学校を支援

ICTを活用した教育の推進

○研修等の充実

- ・ ICTを活用した効果的な指導を行うための**実践事例集の周知・普及**
- ・ 教師のICT活用指導力の向上を図るための校内研修を実施するリーダー教師のための**研修の手引きの周知・普及**
- ・ 独立行政法人教職員支援機構における、**各地域でICT活用を推進する指導者の養成のための研修**の実施

○先端技術の効果的な活用に関する方策の検討・実施

- ・ 「**新時代の学びを支える先端技術活用推進方策**」の**具体化・実施**(中間まとめ:平成31年3月公表、最終まとめ:令和元年6月公表予定)

○学校のICT環境整備の加速化に向けた取組

- ・ 「**教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(平成30～令和4年度)**」を踏まえ、学校のICT環境整備に必要な経費について、単年度1,805億円の地方財政措置
- ・ 関係省庁や産業界等とも連携しながら、**安価な環境整備に向けた具体策の検討**や**関係者の専門性を高める取組等**を推進

教師の資質能力向上の推進(養成・採用・研修の改善)

○新しい教職課程の着実な実施

- ・ アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善やICTを用いた指導法など、**内容を充実した新しい教職課程の着実な実施(平成31年4月～)**

○研修支援等の充実

- ・ 資質の向上に関する**指標や教員研修計画**を活用した体系的・効率的な研修実施の推進
- ・ 独立行政法人教職員支援機構における、校内研修等への活用が可能な**研修用動画の充実・周知**
- ・ **教職大学院を活用した現職教師の教職生活全体を通じた職能成長の支援**

○外部人材の活用促進

- ・ 学校以外で勤務した経歴や専門的な知識・技能を有する者など、**多様な背景を持つ人材によって教職員組織を構成**できるようにするための**免許制度や教師の養成・採用・研修・勤務環境の在り方の検討**

新しい時代の初等中等教育の在り方に関する中央教育審議会での検討

- ・ 新しい時代を見据えた学校教育の実現のための**教育課程、教員免許、教職員配置の一体的検討**